

# 広報 ちくご

## CHIKUGO



### 体育の日の快汗体験

#### ちっごスポーツフェスティバル

十月十日の体育の日「ちっごスポーツフェスティバル」が開かれました。

体育の日に、さわやかな汗を流そうというこの催しは、昨年は台風の影響で中止になり、二年ぶりの開催となりました。

この日は、羽塚小学校で総合開会式が行われたあと、軟式野球陸上競技、ソフトボール、剣道など十五競技が市内の各会場で行われ、子どもからお年寄りまで三千人を超える市民が参加して、秋空の下で日頃の練習の成果を競いました。（写真は、羽塚中学校で行われた子ども会対抗リレー）

### おもな内容

- みんなで考えたい高齢化対策 (P.2~P.5)
- 全国青年大会に筑後市から5人が出場 (P.6~P.7)
- 保育所の入所申込み (P.7)
- 防火標語・ポスター展結果 (P.8)

**11** NO. 464  
平成4年  
(1992年)  
**月号**

毎週土曜日、市役所は休みです

市の木：クスノキ

市の花：サザンカ

# “老い”は誰にもやって来る

## みんなで考えたい高齢化対策



▲10月1日の老人クラブ大運動会から

高齢化社会の到来——あなたはどんなイメージを持っていますか。

厚生省人口問題研究所の推計によると、六十五歳以上の高齢者人口は今後も増え続け、西暦二〇二〇年にピークを迎え、国民の四人に二人（二五・二割）以上が六十五歳以上になると言われています。

二〇二〇年に六十五歳になる人は現在三十七歳……つまり、今働き盛りと言われている人たちが年老いた頃に、日本の高齢化はピークを迎えるのです。

誰もが、年老いて「おじいちゃん、おばあちゃん」と呼ばれるようになります。現在、高齢者と呼ばれている人だけでなく、みんなで高齢化対策を考える必要があります。

### ここまで進んだ高齢化

総務庁が発表した、九月十五日現在の人口推計によると、六十五歳以上の高齢者人口は、昨年より六十九万人増えて千六百二十二万人となっています。総人口一億二千四百三十八万人に占める割合は一三・〇割で、人口、比率ともに過去最高となっています。

日本の高齢者人口比率は、一九七〇年には七・一割でした。高齢化は世界に類を見ない早さで進んでおり、二〇〇五年までには高齢者人口比率でイギリス、スウェーデンを抜いて、世界一の高齢化国になると言われています。

も高齢化が進んでいることがわかります。

### “在宅介護”を中心に進められる高齢化対策

日本は、平均寿命が男性で七十五歳、女性で八十一歳を超え、世界一の長寿国となっています。

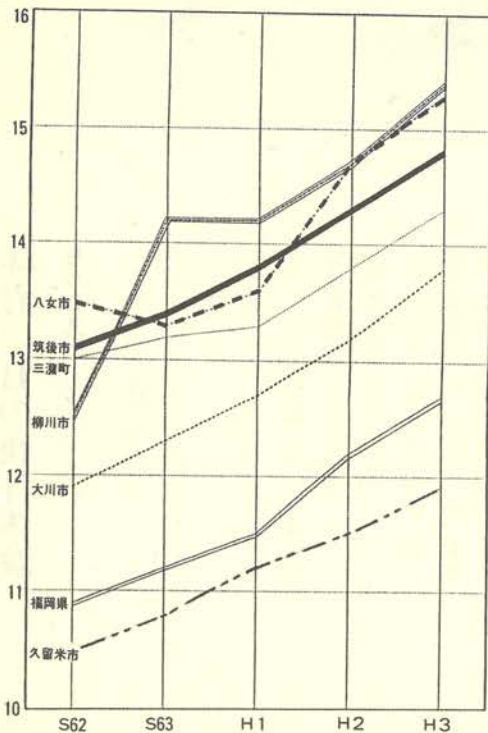
高齢化対策は大きく二つに分けられます。一つは、長くなった高齢期をいかに充実して過ごすか、つまり、心と体をできるだけ長く健康に保つということです。

もう一つは、心や体が弱くなったときに、いかにしてその高齢者を介護するかということです。

健康づくりのためには、ふだんから食生活に気を付けるなどの健康管理が必要です。また、趣味を生かした活動をしたり、地域活動や老人クラブなどに参加したりし

筑後市の九月一日現在の高齢者人口は六千八百一十一人で、総人口四万四千二百四十九人に占める割合は一五・四割と、全国平均より

(単位:%)



▲近隣市町の高齢者人口比率の推移



▲審議会のもよう

### 高齢者保健福祉計画づくり始まる

筑後市の実態に合った高齢化対策をめざして

て仲間と触れ合うことも、健康づくりに役立ちます。心や体の弱くなった高齢者を介護するには、大きく在宅（家庭内で介護）と施設（老人ホームなどで介護）の二つの方法があります。昨年、六十五歳以上の人を対象に実施した高齢者実態調査によると、高齢者のなかには「住み慣れた家・地域で暮らしたい」と考えている人が多いようです。

心や体の弱くなった高齢者を家庭で介護する場合、介護する人に変な負担がかかります。介護する人の負担を少しでも軽くするための行政としての取り組みが必要です。筑後市では今年度から三カ年の指定を受け「すこやかライフ推進事業」を実施します。内容は、一人暮らしの高齢者の一泊ふれあい旅行、在宅で介護している人のリフレッシュふれあい事業「長寿社会と生きがい」シンポジウム、高齢者のふれあい農園やエアロビクスダンスなど、多彩な事業を予定しています。

平成二年六月の老人福祉法および老人保健法の一部改正で、平成五年度中に各市町村で「高齢者保健福祉計画」を策定することが義務付けられました。この計画は、これからの高齢化対策の基本となるもので、保健（健康づくり）と福祉（生活環境づくり）が一体となっていること。在宅での介護を優先すること。市町村が主体的な役割を担うこと。保健・福祉サービスを、住民がより利用しやすいようにすること。

が原則です。各市町村では、この原則に従って計画づくりが進められます。

### 高齢者実態調査や住民懇談会を実施

筑後市では、この計画づくりにあたって、計画の素案を作る策定委員会と、その素案を審議する審議会を設置しました。策定委員会は、助役を委員長に市役所の関係職員で構成されています。

審議会（会長＝木下秀吉社会福祉協議会会長）は、保健・医療・福祉の関係団体、行政組織、学識経験者などの代表二十五人と、公募による市民の代表者三人の二十八人で構成されています。

さらに、市民や高齢者のニーズをよりの確に把握するために各種の実態調査を実施します。また、住民懇談会を実施して関係団体や介護の必要な高齢者の意見・要望を直接聞いて、計画に反映させていきます。

こうして、平成五年九月を目標に、保健・医療・福祉の連携のとれた「筑後市高齢者保健福祉計画」づくりを進めていきます。

### 高齢者大活躍のニュース その①

### 長瀬尊さん（和泉西）がエイジレス章を受章



十月十九日に鹿児島市で開かれた「心豊かな長寿社会を考える国民の集い九州プロック集会」（総務庁など主催）で、和泉西の長瀬尊さん（六十七歳）がエイジレス章を受章しました。

エイジレス章は、年齢にこだわらず生き生きと活躍する高齢者に贈られるもので、九州全域から六人という、たいへん栄誉あるものです。

長瀬さんは「筑後市ホテル保存会」の代表として船小屋などのホテルの復活に大きな成果を上げました。また、県内外の各地から招かれてホテルの保存指導をしています。

とびうめ国体の際には、長瀬さんの製作した「羽犬」の置物が、各県の選手六百人に記念品として贈られ好評を得ました。趣味はこのほか、さつき盆栽、ひょうたんの絵付け、手品など多彩です。地元の老人クラブなどで披露する手品のレパートリーは二十種類あり、大きな拍手を浴びています。

このよつな、年齢を全く感じさせない多彩な活躍が認められて、今回の受章となったものです。長瀬さんは「たいへん栄誉なことです。六人の受章者の中で私がいちばん若かつたので、会場で紹介されたときには少し照れ臭いような気もしました。

現在、県内外の十数カ所ホテルの保存指導をしています。これは、ライフワークで続けていきたいと思っています。老人クラブでも、『これからも、元気に仲良くやろうじゃないか』という気持ちで、手品などの楽しい活動をしていきたいと思っています」と話してくれました。

このほか、手先の器用さでも知られ、新しい民芸品をつぎつぎに創作し、おみやげ品コンクールで各賞を受賞しています。一昨年の長瀬さんの多方面での活躍は続きます。

# 「安心して老いを生きるために」を みんなで考える

## 筑後校区高齢社会モデルネットワーク事業



▲保健婦の指導で健康体操をする筑後校区のみなさん

高橋会長は、つぎのように話してくれました。「和泉東区で二十年前に子ども会を作った時に七十数人いた子どもたちが、今では三十人を切りました。高齢者会(老人会)は六十数人と、数が逆転しています。既に高齢化社会に突入しているのです。自分が高齢者と呼ばれるようになってから考えるのではなく、若いうちから考えておくべきだと思います。老人クラブなどで仲間と触れ合っている人はいいですが、一人暮らしの人は老いるのも早いと言われていますので、地域での

触れ合いを大切にしたいと思っています。社会福祉協議会からの指定は今年で終わりますが、子ども、若者中高年、高齢者が、仲良く触れ合

う社会を目指して、今後活動していきたいと思っています。そのためにも、もっともつと若い人にこの研修会に参加してほしいと思います」

筑後小学校区(二本松、山ノ井東、山ノ井中、長浜、和泉東)の校区福祉会(会長＝高橋達法和泉東区長)では、「安心して老いを生きるために」をテーマに、社会福祉協議会の指定を受けて「高齢社会ネットワークモデル事業」を実施しています。

筑後校区のモデル事業は、まず寝たきりにならないための健康づくり、そして寝たきりになったときに家族がどう介護するか、という流れに沿って、六回の研修会という形で開かれます。

研修会の内容は、市の保健婦らによる「寝たきりにならないために」「骨の老化とその予防」などについて、市の映画と講話、健康体操の実技指導、家庭介護の体験発表、グループ討議、高齢者の食事の調理実習など多彩です。

家庭での介護からもう一つ進んで、地域で高齢者の見守り体制を作り上げていこうというのが最終的な目的です。

校区の人の関心も高く、昼働いている若い人から「研修会に参加したいから日曜日に開いてください」という要望があり、六回のうち二回は日曜日の開催となりました。親子四人で研修会に参加した人もいました。

校区での取り組みを受けて、各行政区ではさらに内容を深めて研



▲高橋会長(右)

修会を開いています。和泉東区では、医師、保健婦、区民生委員などを招いてのパネル討論会や講演会を開きました。今後も家庭での介護について、ひざを突き合わせる研修会が予定されています。

### 若いうちから考えよう

## 高齢化する社会の実態・筑後市の現状

### 筑後市高齢者実態調査報告①

筑後市では昨年、65歳以上の人を対象に高齢者実態調査を実施しました。

この調査の目的は、老人保健福祉計画の策定に向けて、市内の高齢者の生活状況・健康状況・介護状況などの実態と保健・福祉行政に対するニーズを把握することです。

調査は、地区の民生委員さんの協力で聞き取り調査という形で行われ、調査対象は5,650人で、そのうち4人が無回答でした。

今月から数回に分けて、調査の結果を報告します。

#### ●高齢者の実態

【年齢構成】前期高齢人口(65歳以上75歳未満)と後期高齢人口(75歳以上)の比率は、約60対40で、県全体の割合とほぼ同じです。

【性別】男性が40.1%、女性が59.6% (0.3%は不明)で、女性の高齢者が多いことがわかります。

【配偶者】配偶者がいる人は全体の58.7%ですが、年齢が高くなるにつれてその比率は低くなっています。

また、配偶者を失った人の比率を性別で見ると、男性13.2%に比べて女性が55.7%と高くなっています。

【世帯構成】「自分だけの世帯」が437世帯(7.7%)、「夫婦だけの世帯」が550世帯(1,100人=19.5%)と、高齢者だけの世帯が27.2%を占めています。

「親子の多世帯世帯」は3,855世帯(68.2%)で、県の比率55.1%より高く、高齢者の同居率が高い傾向がうかがえます。

【住居の状況】全体の92.1%が1戸建持家ですが、単身世帯では73.5%と低くなっています。

【生活費】生活費の資金源の主なものは、公的年金・恩給が75.4%を占め、子どもからの援助が27.1%となっています。

次回は高齢者の健康状況を報告します。

家庭で高齢者を介護している人へ

# 筑後市のおもな在宅福祉サービス

筑後市では現在、家庭の中で介護の必要が高齢者や、その高齢者を介護している人などを対象に、つぎのようなサービスを行っています。利用してください。

### ◆ホームヘルプサービス

高齢者で介護や家事の必要な人の家庭を、ホームヘルパー（家庭

奉仕員）が訪問してお世話をします。

▼介護のお手伝い 食事、入浴、衣類の着脱の介護、通院の介助等  
▼家事のお手伝い 調理、洗濯、そうじ、買物など

所得により負担金があります。問い合わせは福祉事務所福祉係（☎

## 高齢者大活躍のニュース その②

# 市老人クラブから「ねんりんびつく'92」へ

十月三十一日から十一月三日まで、山梨県で「健康福祉祭全国大会（ねんりんびつく'92）」が開かれます。



▲市長を訪問した選手団のみなさん

筑後市からは、ゴルフに、緒方作太郎さん（野町、七十五歳）、井ノ口嘉蔵さん（水田上、七十二歳）、古賀啓次さん（中牟田、六十四歳）が、ソフトボールには吉田和典さん（馬間田南、六十三歳）、白水勝さん（羽犬塚、六十歳）、水田涉さん（上北島、六十歳）、三管九郎さん（久富、六十九歳）の七人が、県の代表として参加します。

選手団七人は、十月十二日に市長を訪問し、「県代表の名に恥じないよう、高齢者パワーでがんばります」と抱負を語ってくれました。

### ③ 4111内線222へ。◆ショートステイ（短期入所）

六十五歳以上の、寝たきりや痴呆性の高齢者を介護している家族の人が、病气、冠婚葬祭、出産、旅行などで一時的に介護ができなくなった場合や、介護疲れで休養したい場合などに、高齢者を一週間程度老人ホームにお預りしてお世話をします。

一日千九百七十円の負担金があります。問い合わせは福祉事務所福祉係へ。

### ◆デイサービス

六十五歳以上の体の弱い高齢者を、週一回デイサービスセンター（野町の総合福祉センター）に送り、入浴や食事などのお世話をします。料金は一日五百円です。

### ◆日常生活具給付

六十五歳以上の寝たきりや一人暮らしの高齢者に、特殊寝台、浴槽、マット、車いすなどを給付します。所得により負担金があります。問い合わせは福祉事務所福祉係へ。

### ◆入浴サービス

六十五歳以上の寝たきりや介護の必要が高齢者で、家庭では入浴が困難な人に、月二回程度施設で入浴のお世話をします。地区の民生委員を通して申し込みます。料金は一回五百円です。問い合わせは社会福祉協議会（☎③396

### ◆デイサービスの様子



### ◆配食サービス

六十五歳以上の一人暮らしの高齢者に、週一回弁当を配ります。地区民生委員を通して申し込みます。料金は一食二百円です。問い合わせは社会福祉協議会へ。

### ◆訪問指導

市民の健康づくりや病気の療養などについて、保健婦が家庭を訪問して生活指導・相談などを行います。問い合わせは保健管理課衛生係（☎③4111内線311）へ。

### ◆機能訓練

脳卒中などで身体が不自由になった人に、日常生活の自立を助けるために必要な訓練を、週一回保健センターで実施しています。問い合わせは保健管理課衛生係へ。

### 健康と生きがいづくりのために

シルバー人材センターで働いてみませんか

シルバー人材センターでは、働く高齢者を募集します。

センターは、臨時的で短期の仕事に依頼主から有償で引き受け、これを会員に提供し、仕事の内容と実績に応じて報酬を支払います。現在、特に、植木の手入れ、除草、雑作業などの会員を募集しています。

市内に住む六十歳以上の人で、健康で働く意欲のある人ならどなたでも入会できます。問い合わせは同センター（☎②0722）へ。

## シルバー学園生募集

福祉事務所では「シルバー学園生」を募集します。

これは、園芸や植木の手入れなどを学び、地域での活動やシルバー人材センターの仕事に生かしていただくというものです。

【ところ】シルバー人材センター（市役所東側）

【内容】二班に分かれて月一回【会費】年間千円

【申込み】十一月十日（火）までに福祉事務所またはシルバー人材センターへ。

【問合せ】福祉事務所福祉係（☎③4111内線222）

がんばれ!!

# 働くスポーツ青年

全国青年大会(11月6日～9日・東京)に、筑後市から5人が出場



▲左から島添さん、高井良さん、山口さん

八月と九月に、筑豊地区などで開かれた第三十五回県民体育大会(県体)青年の部で、筑後市から出場した弓道チーム(高井良明さん||二九歳・万才、島添秀雄さん||二三歳・野町、山口良さん||二四歳・鶴田の三人で構成)、陸上三段跳の佐藤誠さん(二一歳・長浜)、水泳百メートル自由型の竹ノ内茂さん(二七歳・上町)が優勝しました。

この三者は、十一月六日から九日にかけて東京の国立競技場を中心に開かれる「第四十一回全国青年大会」に、福岡県代表として出場します。この大会は、全国の働く青年が集まって、スポーツ・芸能文化・意見発表を実施して、お互いの友好親善を深めて行くのが目的です。出場する人たちに、全国大会に向けた抱負を語ってもらいました。

## 「正射必中」で全国一をめざす

弓道チームの高井良さん、島添さん、山口さん

弓道チームは、見事な逆転で県体優勝を決めました。弓道の団体競技は、三人で一チームを作り、二回に分けて一人四本ずつ矢を放ち、三人の合計の数を決めます。県体には三十八チームが参加し、筑後市は、先行する北九州市を二回目でとらえ、山口さんの最後の一射で逆転するという劇的な勝利を収めました。

筑後市から全国大会に出場するのは、十三年ぶり三回目です。

三人とも高校時代に弓道を始め、インターハイや九州大会などの大きな大会で優勝するなどのすばらしい実績の持主で、現在は高井良さんが四段、島添さんが二段、山口さんが五段の腕前です。

## 心と体の鍛練が弓道の大きな魅力

弓道はデリケートなスポーツです。相手は動かさないですが、必ず当たるとは限りません。また、的に当てるだけでなく、動作から呼吸法までが求められます。心と体を鍛えなければ、道を極めることはできません。

「正射必中(正しく弓を引けば必ず当たるということ)を目指して自分の心と体を鍛えることと、

違う仕事をしている仲間と交流できることが、弓道を続ける最大の理由です」と、三人とも口を揃えて言います。

水曜と土曜の午後八時からが定例の合同練習日ですが、仕事が忙しくなかなか全員は揃いません。そこで、それぞれが早朝や他の日に自主トレーニングをするなどしてカバーしています。

キャプテンの高井良さんは、「今まで指導してくださった監督や先輩方の教えを守って、県の代表として恥じぬよう、チームワークで全国一を目指します」と力強く話してくれました。

チームに同行する監督の城戸見平さん(徳久)は、「無心で弓を引きなさい。そうすれば必ず日頃の練習の成果が出ます」と、優しく見守っています。

## みんなで考えたい「スポーツと健康づくり」

竹ノ内茂さん(水泳百メートル自由型)

竹ノ内さんは、黒木町のフィットネスクラブで、水泳や器械を使った健康づくりの指導員をしています。

水泳を本格的に始めたのは、高校を卒業してスイミングクラブに就職して、水泳の指導をするようになってからのことです。

県体で優勝したのは、四年前に続いて今回が二度目です。今回の優勝記録1分1秒93は、ここ数年の優勝記録の中では最高です。

竹ノ内さんは、もともと体を動かすことが好きで、現在の職場にいと「趣味と仕事と健康づくりが一度にできる」ということです。



▲子どもたちと練習する佐藤さん

# 決勝進出をめざしてがんばる

佐藤 誠さん（陸上三段跳）

佐藤さんは中学時代に陸上競技を始めました。本格的に跳躍に取り組むようになったのは高校に入ってからです。

佐藤さんは、昨年の県体でも、三段跳三位、走り幅跳四位という成績を収めています。今年の大会では、予選と決勝でそれぞれ三本ずつを跳び、最初からトップの座を譲らずに優勝しました。

毎週土曜日の午後、八女工高のグラウンドで、筑後ジュニア陸上



▲竹ノ内さん

# 職場の仲間に感謝

指導が忙しく、なかなか自分の練習ができませんが、指導の合間に泳いだり、自転車で自宅から職場までの往復三十分を通ったりして、体力づくりを欠かしません。

職場では、子どもから大人までいろいろな人を指導しますが「子

どもの純粋さや大人の豊かな経験に、教えられることも多い」そうです。そして最後に、「快く全国大会に送り出してくれる職場の人たちに感謝しています。優勝するなんて言えませんが、いっしょうけんめいがんばります。筑後市にも、周囲にアピールできるようなスポーツ施設や、もっといろいろなスポーツ施設が欲しいです。そして、そこで様々な催しを開きながら、市のスポーツ全体のレベルアップをして欲しいです。市民みんなで『スポーツと健康づくり』を考えていきたいですね」と話してくれました。

# スポーツリーダーとしての期待



クラブ（市内の小学校の児童たちが参加）の練習が行われます。佐藤さんの職場は三交替勤務です。で、土曜日の午後が休みにならぬこともありますが、できるだけこの練習に参加して、子どもたちの指導をしながら走るようにしています。また、仕事から帰って自宅近くの小学校のグラウンドを走るなどの練習もしています。「走るのが好きで、会社でも陸上部に入っています。陸上競技はこれからも続けていきます。全国大会では、決勝進出を目指してがんばります」と語る佐藤さんに、ジュニア陸上クラブの子どもたちからも、熱い声援が送られています。

全国大会での活躍、そして地域のスポーツリーダーとしての活躍が期待されます。

# 保育所(園)の入所申込み

福祉事務所では、来年4月から  
の保育所(園)の入所申し込みを  
受け付けます。

申請書は福祉事務所と各保育所  
にあります。

申し込みは毎年必要ですので、  
引き続き入所したい家庭も申し込  
んでください。

各保育所での受付日程は、つき  
のとおりです。

〔11月16日(月)〕午前〃桜保育所、  
午後〃筑後保育所

〔11月17日(火)〕午前〃椋の実保育  
園、午後〃水田幼児園

〔11月18日(水)〕午前〃輝保育園、  
午後〃船小屋保育園

〔11月19日(木)〕午前〃古川保育園  
午後〃筑後二川保育園

〔11月20日(金)〕午前〃あさひ保育  
園、午後〃松原保育園

〔11月24日(火)〕午前〃楠の実保育  
園、午後〃幸輪保育園

〔11月25日(水)〕午前〃宗岳寺保育  
園

受付時間は、午前は9時半から  
11時半まで、午後は1時半から4  
時までです。

前記の日時に申し込みできない  
人は、11月30日までに福祉事務所  
へ申し込んでください。

問い合わせは福祉事務所庶務係 ☎  
⑤4111、内線221へ。

# 「宮澤内閣の総辞職を求める」 意見書などを可決

臨時市議会

十月二十二日に開かれた臨時市  
議会でつぎの意見書が可決され、  
関係行政庁に送付されました。

◆「佐川急便疑惑の徹底究明と政  
治倫理の確立を求める」意見書

◆「宮澤内閣の総辞職を求める」  
意見書

市奨学会基金に寄付をいただきま  
した。

同社では、筑後市の青少年健全  
育成と人材育成のために、平成二  
年の創業百周年を機に寄付を始め  
られ、今年百二年に合わせ百  
二万円が寄せられました。

◆筑後市奨学会 筑後市奨学会は、  
多くの人たちからの寄付を基金に  
運営され、現在までに、のべ二百  
七十六人の高校生に奨学金を支給  
してきています。

# 筑後市奨学会に寄付

今年度も十一月に奨学生を募集  
します。問い合わせは各中学校へ。

▼防火ポスター最優秀賞 原 優也さんの作品



火のしまつ その時その時 気を付けて  
防火標語・ポスター展

十一月九日から十五日までは、秋の全国火災予防運動週間です。

空気が乾燥し、だんだん寒くなつて火を使うことが多くなるこの季節は、火災が起きやすくなります。ちょっとした不注意で大事な財産を失ってしまうことのないよう気を付けましょう。

市防火協会では、防火ポスターと防火標語を募集し、市内の小中学校から、ポスター二百五十一一点標語二百二十四点の応募をいただきました。その中から、つぎの各賞が決まりました。(敬称略)

〔ポスター〕

◆最優秀賞

原優也(羽犬塚小六年)

◆防災協会会長賞

友添未希(下妻小五年)

◆消防長賞

田籠晋二(松原小五年)

入賞したポスターと標語は、十一月六日から十五日までユニード筑後店に展示します。

また、ポスターの部で最優秀賞の原優也さんの作品は、印刷されて市内の官公庁や事業所に貼られます。

防火標語

◆最優秀賞

火のしまつ その時その時 気を付けて  
水洗小5年 尋木杏子

◆防災協会会長賞

こわい火を 防ぐぞ守るぞ 気を付けよう  
松原小5年 井上千夏

◆消防長賞

ちょっとした あなたの気配り 火事ふせぐ  
松原小6年 服部由佳

イベントがもりだくさんの秋

さあ!!みんなでお出かけよう

◆熊谷弘指揮「室内オーケストラ演奏会」

東京で活躍する指揮者・熊谷弘(八女高OB)さんの呼びかけでNHK交響楽団をはじめとするオーケストラや、ソリストとして活躍するトップ奏者たちが集まってできた、国内最高のオーケストラの演奏です。

プログラムは、モーツァルトやビートルズといったなじみ深い曲などがあります。

〔とき〕11月13日(金)午後6時半開演(6時開場)

〔ところ〕筑後市民会館

〔前売券〕一般三千七百元、小学生二千円

〔問合せ〕社会教育課(☎534111内線431)

◆市民文化祭

教育委員会と文化連盟では、つぎのとおり市民文化祭を開きます  
〔とき〕11月13日(金)～15日(日)  
〔ところ〕サンコアほか  
〔内容〕さつき展、寒ラン展、児童作品展、書道展、茶会など

県美術展入選者

九月に行われた県美術展で、十

〔問合せ〕社会教育課(☎534111内線431)

◆サンダーボードフェスタ'92

スペースワールドでは、今年も秋のビッグイベント「ブルースカイパーテイ'92」を開催しています。とっておきのイベントは「サンダーボードフェスタ'92」。お父さんたちには懐かしく、子どもたちには今新しい、あの「サンダーボード」のすべてがスペースワールドによりがえります。

〔期間〕11月23日(祝)まで

〔場所〕スペースドーム内コスモピア

〔内容〕①サンダーボード2号の発射場面を再現した大型ディスプレイ、②秘密基地トレーシー島の大型模型、③メカや隊員の意外な場面が写し出されるシークレット・ギャラリー

〔料金〕バスポートの人は無料(入園券の人はスペースドーム入館料五百円が必要です)

〔問合せ〕スペースワールド(☎093・672・3456)

月一日号でお知らせした入賞・入選者のほか、写真の部門で久我敏博さん(久恵)が入選されました。

シルバー作品展  
入賞者



九月十一日から十三日まで総合福祉センターで開かれた「シルバ―作品展」で、つぎの人たちが表彰されました。(敬称略)

- ◆最優秀賞 下川衛、藤吉逸子、村上武雄、辻嘉六、下川輝夫、中島政喜、近藤トシエ、水町定江
- ◆優秀賞 佐藤平八郎、東昭、徳永佐助、中尾タツヨ、久良木シヅカ、吉武鈴香、松永千佐子、石川キクヨ、服部紗代子、井上寿美子
- ◆奨励賞 野田ヨシエ、湯浅保市、吉田綾子、本村明夫、竹下清春、古賀マズエ、服部紗代子、井上寿美子、下川千里、森ハル、吉川ハツノ、松崎美智子、下川敬二、水田春子、村上成己、久良木馨、井口チエノ、鹿毛力、水町定江、近藤亨子、徳永佐助、高井良タツエ、井村愛子、近藤ハル子、馬場清、八山しきえ、江口和子、佐田トシエ、水町敏子、近藤一義、石橋仙太郎
- ◆特別賞 緒方正明

こんなこと

風に吹かれて“へびウリ”ゆらゆら

富重の田中千代吉さんが栽培



富重の田中千代吉さん(六十七歳)方の畑で、東南アジア原産の「へびウリ」が実を付けました。「へびウリは、ウリ科カラスウリ属の植物で、ニガウリの仲間です。田中さんは、「へびウリの種を譲ります」という新聞記事を見て申し込み、三個の種を譲り受けました。そして、今年の六月に植えました。九月になると、へびウリが実を

付け始め、それから二週間くらいで二畝ほどの長さになり、ぶどう棚から地面に届くほどになりました。

十月始め頃には、全部で百五十個ほどが実を付け、風に吹かれて揺れる様子は、まさにへびのようでした。

田中さんは「こつとう品などの珍らしい物を集めるのが好きです。最初は飾り物にしようと思っただけでしたが、やわらかすぎてダメでした。ならづけにすると、ニガウリに似た味がしておいしかったです」と、楽しそうに話してくれました。

あんなこと

ゴミ拾いでさわやかな汗

矢部川ノーポイ運動

十月十八日、矢部川流域で、「第七回矢部川ノーポイ運動」が実施されました。

これは、建設省筑後川工事事務所が、矢部川と筑後川流域の二市四町で毎年開いているもので、今年は十八日と二十五日の二回で約一万九千人の住民が参加しました。筑後市では、矢部川・船小屋周辺に県営公園の建設が決まり、環境整備への気運がより一層盛り上がっています。

この日は、東は古川地区から西は津島地区までの市民約四百五十人が参加し、矢部川の河原や堤防に捨てられた、燃えないゴミ五百四十\*と、燃えるゴミ百\*を回収しました。



梨の皮むきコンテスト

留学生も参加して国際交流

第十三回農業まつり

十月三日と四日、筑後市農協本所で「第十三回農業まつり」が開かれ九州大学の海外留学生や市内在住の外国人も参加して、多彩な催しが行われました。

農協では、二年前の九月に「国際交流二十四時間ソフトボール大会」を開くなど、外国人との交流の中で、日本の米と文化とのかか

わりや国際交流を考える活動をしてきました。

メインステージでの留学生講演会や腕相撲国際大会などのほか、農協本所前広場には、たくさんのテントが並び、無農薬野菜や手づくりみそ、新鮮な果物などが即売され、たくさんの人たちにぎわいました。





# これだけは知っておきたい

## エイズの正しい知識

一九八五年、日本に初めてエイズが上陸してから、今年で七年になります。その二年後には、女性患者が死亡して社会に大きな衝撃を与えました。この間、研究や治療などさまざまな対策が施されてきましたが、特效薬は、まだみつかっていません。

単なる好奇心や誤解による不安で語られることの多いエイズですが、現状を踏まえ、正しい予防知識を再確認しましょう。

エイズとは後天性免疫不全症候群の略称です。ヒト免疫不全ウイルス(HIV)が感染したことによって、病原体の侵入から体を守っている免疫系が障害を受けて、免疫不全に陥る病気です。

## エイズの現状は

厚生省の調査では、今年八月末現在の国内の発病患者数は四百九十七人。発病はしていないが、エ

イズウイルスに感染している人が二千三百六十九人います。毎年少しずつ増えています。患者、感染者の大半が血友病患者の凝固因子製剤による感染ですが、現在は安全性が保たれているため、凝固因子製剤や輸血などによる感染の心配はなくなっています。代わって、最近では性行為感染による患者、感染者が急増してい

ます。特に異性間的接触が主流になってきており、これは男性同性愛者に多いといった従来の考え方を全くくつがえすことになりました。また、男性は海外、女性は国内で感染する例が多いこともわかっています。

子どもへ、などが考えられます。しかし、エイズウイルスは、ウイルスの中でも非常に感染力が弱いウイルスです。性行為以外の接触(握手や普通のキス)、咳やくしゃみ(エイズは空気感染しない)一緒に食事(まわし飲み、同じ皿、同じ箸で食べる)、感染者との同居(風呂、トイレ、職場、学校)、決まったパートナーとの性行為は安全とされています。

感染経路としては、感染者との性行為(血液、精液、女性の体液を介して)、ウイルスで汚染された注射器や針の使用・共有、エイズウイルスに感染している母から

また、コンドームの正しい使用は予防に有効です。エイズを正しく理解して日常生活をいたずらに混乱させないことが重要です。

それでも心配があれば



八女保健所では、毎週月曜日、エイズの相談や検査を行っています。時間は午後一時から午後二時半までです。一人で心配せずに相談してください。くわしくは八女保健所(☎0943231151)へ。

## 日曜祝日在宅医



- 1日 山上産婦人科(上町 ☎5855)
- 伊藤医院(溝口町 ☎3531)
- 3日 内藤産婦人科(和泉東 ☎2440)
- 坂井内科(上町 ☎586)

- 8日 木附外科(藤島 ☎3945)
- 永田医院(船小屋 ☎3271)
- 15日 田中整形外科(野町 ☎5000)
- 水落医院(上富久 ☎2332)
- 22日 筑後市立病院(和泉西 ☎7511)
- 23日 筑後市立病院(和泉西 ☎7511)
- 29日 チクゴ胃腸科(尾島 ☎4350)
- 平井医院(和泉中 ☎2353)

- 久留米広域眼科在宅医
- 1日 中島眼科(久留米市野中町 ☎2030)
- 3日 富田眼科(八女市本村 ☎094333455)
- 8日 尾関眼科(久留米市安武町 ☎5166)
- 15日 山下眼科(筑後市山ノ井 ☎2225)
- 22日 杉田眼科(久留米市国分町 ☎2020)
- 23日 平野眼科(八女市本町 ☎094325550)
- 29日 楨眼科(久留米市城南町 ☎4807)

11月

# 今月の衛生行事

## ◆予防接種

### ☆三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）

- ・5日（木）13：30～14：30 保健センターで
- ・26日（木）13：30～14：30 保健センターで
- ・対象者＝生後12カ月から48カ月未満の子。今までに接種できなかった子は72カ月未満であれば二種混合（ジフテリア・破傷風）を受けることができます。
- ・2期を受ける子はできるだけ5日に受けてください

### ☆インフルエンザ（2回目）

- ・12日（木）松原・筑後北・古川校区
- ・17日（火）水田・古島・下妻・二川・水洗校区
- ・25日（水）羽犬塚・西牟田・筑後校区
- ・時間は、いずれも13：30～14：30 保健センターで
- ・対象者＝満3歳以上の希望者（小・中・高校生、一般も含む）
- ・料金＝300円 ただし、幼児、小・中・高校生は無料

## ◆乳児検診（4カ月児）

- ・27日（金）13：30～14：30 保健センターで
- ・対象者＝平成4年7月生れの子
- ・当日は小児がん（神経芽細胞腫）の尿検査セットを渡します。受診できないときは、保健管理課へ連絡してください。

## ◆1歳半児検診

- ・20日（金）13：30～14：30 保健センターで
- ・対象者＝平成3年4月生れの子
- ・当日は麻しん・MMRの間診票を渡します。母子ブレイの実技やおやつを試食会もあります。受診できないときは、保健管理課へ連絡してください。

## ◆3歳児検診

- ・13日（金）13：30～14：30 保健センターで
- ・対象者＝平成元年10月生れの子
- ・母子手帳と郵送したアンケート用紙を記入してもらってきてください。

## ◆育児相談（9カ月・10カ月児）

- ・19日（木）13：30～14：30 保健センターで
- ・対象者＝平成4年1月・2月生れの子
- ・育児についての相談や保育指導をします。

## ◆母親教室

- ・12日（木）9：00～12：30 保健センターで
- ・26日（木）9：00～12：30 保健センターで
- ・初妊婦を対象に妊娠中と産後の生活指導及び新生児の保育指導をし、母子手帳を渡します。

## ◆リハビリ教室（バスで送迎します）

- ・毎週水曜日 13：30～16：00 保健センターで

ストレッチ体操、棒体操、竹ふみ体操、手芸など

## ◆減量教室

- ・10日（火）13：30～16：00 保健センターで  
運動療法について

## ◆糖尿病教室

- ・10日（火）13：00～16：00 開講式、身長・体重・血圧測定、血液検査、講義「糖尿病について」  
講師 原田壽彦先生（市立病院長）
- ・24日（火）9：00～12：00 糖尿病と食事療法（講話と実習）  
13：00～15：00 糖尿病と運動療法（講話と実習）
- ・場所は、いずれも保健センター

## ◆健康相談

- ・毎週水曜日 13：30～14：30 総合福祉センター
- ・6日（金）10：30～11：30 前津公民館
- ・13日（金）10：30～11：30 馬間田農協出張所
- ・20日（金）10：30～11：30 井田上公民館
- ・27日（金）10：30～11：30 水田コミュニティセンター  
40歳を過ぎたら月に1度、血圧測定、検尿など健康チェックをしておきましょう。遠慮なく相談においでください。

## ◆結核検診

- ・4日（水）10：00～11：30 井口水道倉庫（下妻）  
13：15～14：00 四ヶ所区長宅前  
14：15～15：00 江口お宮前
- ・5日（木）10：00～11：30 津島西生活改善センター  
13：15～14：00 一品香前（山ノ井）  
14：15～15：00 八女食販前（和泉）
- ・6日（金）10：00～11：30 尾島公民館  
13：15～14：00 野町公民館  
14：15～15：00 松永酒店横（長崎）
- ・対象者＝学校や職場で受けられない15歳以上の人
- ・受診料は無料です。最寄りの会場で受けてください

## ◆12月は……

- ・1日（火）減量教室 9：30～12：00 保健センター
- ・2日（水）健康相談 13：30～14：30 総合福祉センター
- ・4日（金）健康相談 10：30～11：30 前津公民館  
健康相談 13：30～14：30 野中公民館



## 子育て電話相談

☎ 53-8574

毎週火・木曜日 10:00～16:00



# お知らせのページ



市役所への問い合わせ ☎ 0942-53-4111  
サンコアへの問合せ ☎ 0942-53-2516

## こよみ

- 3日 文化の日 □市民ハイキング(九重町一目山)
- 4日 市政功労者表彰式 民生委員会
- 5日 農業委員会
- 12日 行政区長会研修(13日)
- 13日 市民文化祭(15日) 文化振興事業例会「室内オーケストラ演奏会」
- 15日 市民ソフトバレエホール大会 □親子ふれあい広場 □七五三
- 23日 勤労感謝の日



## 市民交通傷害保険の切替え

11月は、市民交通傷害保険の切替え月です。

いままで加入していた人も、これから新しく加入しようという人も手続きをしてください。

〔加入資格〕市内に住んでいるか市内に通勤通学している人

〔保険料〕1人年額六百元、中途申込みは月額五十円

〔保険金〕死亡、重症障害の場合は百万円、けがの場合は五千万円、十二万円

〔申込み〕11月2日～25日まで(隣組長さんを通じて行政区長さんへ申込んでください)

くわしくは市民課(☎4111内線182)へ

## 筑後小学校の瓦を譲ります

筑後小学校の改築にともなう旧校舎の瓦が、少し残っています。

市では、市民のみなさんへ同校の瓦を譲ります。

〔申込み〕教育委員会総務課へ直接申込んでください。先着順です。ただし、業者の方はご遠慮ください。

〔瓦の引渡し〕筑後小学校

〔価格〕①平瓦一枚二十円 ②役瓦一枚五十円。代金はその場で支払ってください。

問い合わせは、教育委員会総務課(☎4111内線411)へ

## 差押さえ物件の公売

滞納による差押え物件の公売を行います。

〔とき〕11月26日(休)午後2時

〔ところ〕市役所第1委員会室

〔公売物件〕電話加入権

〔公売方法〕一般競争入札。代金は当日支払いのこと

公売は、どなたでも参加できます。印かんを持ってください。

くわしくは、税務課徴収係(☎4111内線171)へ

1 学校週5日制促進事業

子どもハイキング

市教育委員会では、学校週5日制促進事業として、つぎのとおり子どもハイキングを行います。

〔とき〕11月14日(土)午前8時30分

サンコア集合(雨の時は中止)

〔コース〕サンコア→石人山古墳

↓サンコア(約8分)約3時間

〔対象者〕小・中学生または、小中学生の親子

〔参加費〕無料

〔持ってくる物〕水筒

〔申込み〕当日受付いたします

〔問合せ〕サンコア(☎532516)へ

## みんなで遊ぼう!! 親子ふれあい広場

(注)日本保育協会では、わんぱくで、たくましい子どもたちをのびのびと育てる願いから、親子でふれあえる広場をつぎのとおり行います。

お父さんやお母さんと一緒に、歌ったり踊ったり、楽しい一日を過ごしましょう。

〔とき〕11月15日(日)午前10時～午後3時30分

〔ところ〕羽塚小学校体育館と運動場

〔参加者〕どなたでも参加できます。必ず親子で参加してください。

〔問合せ・申込み〕近くの保育所へ。なお、有料の屋台や模擬店コーナーがあります。

## 文化財めぐり

市内にある国・県及び市指定の文化財(無形文化財を除く)めぐりをつぎのとおり行います。

〔とき〕11月25日(休)午前9時～午後4時。午前9時にサンコア集合

〔コース〕石人山古墳→欠塚古墳→水田天満宮→光明寺→坂東寺→能野神社→老松神社→寛元寺→日吉神社→六所宮などをバスで回ります。

〔会費〕五百円(昼食代ほか)

〔説明者〕筑後郷土史研究会長、

近本喜続さん

〔申込み〕サンコアか社会教育課備付けの申込み用紙に必要事項を記入し、11月16日までに社会教育課へ申込み(☎4111内線432)多数の場合は抽せん。

この大会は、それぞれの場で取り組まれた教育実践や研究成果を明らかにし、そして新たな課題を明らかにし、取り組みを強化していくという意義深いものです。

また、人権・差別をテーマにした講演があり、「橋のない川」で有名な住井すゑさんの講演も予定されています。

なお、筑後市からもレポート報告があります。毎年、2万人の参加者があるこの大会に、ぜひ皆さんの積極的な参加をお願いします。

〔とき〕11月28日(土)～30日(日)

〔ところ〕全体会と特別部会Ⅱ北九州市立総合体育館(北九州市八幡東区八王寺町4-1) 分科会Ⅱ学校教育部会は北九州市内の各会場、社会教育部会は福岡市内の各会場

〔問合せ〕教育委員会同和教育課(☎4111内線441)

## 第44回全国同和教育研究大会へ

全国同和教育研究大会が、13年ぶりに福岡で開かれます。

この大会は、それぞれの場で取り組まれた教育実践や研究成果を明らかにし、そして新たな課題を明らかにし、取り組みを強化していくという意義深いものです。

また、人権・差別をテーマにした講演があり、「橋のない川」で有名な住井すゑさんの講演も予定されています。

なお、筑後市からもレポート報告があります。

毎年、2万人の参加者があるこの大会に、ぜひ皆さんの積極的な参加をお願いします。

〔とき〕11月28日(土)～30日(日)

〔ところ〕全体会と特別部会Ⅱ北九州市立総合体育館(北九州市八幡東区八王寺町4-1) 分科会Ⅱ学校教育部会は北九州市内の各会場、社会教育部会は福岡市内の各会場

〔問合せ〕教育委員会同和教育課(☎4111内線441)

### 11月26日は 年金相談日です

11月6日から12日までは「年金週間」です。

年金について、あなたはどの程度ご存じでしょうか。

年金についての疑問にお答えします。この機会にぜひおいでください。

〔とき〕 11月26日(木)午前10時～午後3時

〔ところ〕 サンコア2階会議室  
〔相談者〕 久留米社会保険事務所年金専門官

また、国民年金習字ポスター展を11月13日(金)～19日(木)まで、久留米岩田屋で行います。

### 無料税務相談と 年末調整説明会

#### 無料税務相談

11月11日から17日までは、「税を知る週間」です。

八女税務署では、つぎのとおり税のビデオの放映と無料税務相談を行います。

〔とき〕 11月10日(火)午前10時～午後3時

〔ところ〕 筑後商工会議所

なお、週間中、市役所ロビーにおいて、税のビデオの放映を行います。

#### 年末調整説明会

〔とき〕 11月26日(木)午前10時～午後2時

〔ところ〕 筑後商工会議所

※説明会出席の際は、税務署から送付された「案内はがき」を必ず持ってきてください。

くわしくは、八女税務署(☎0943-25191)へ。

### 市民ソフトバレーボール 大会出場チーム募集

教育委員会では、つぎのとおりソフトバレーボール大会出場チームを募集します。

〔とき〕 11月15日(日)午前8時30分受付、午前9時開会

〔ところ〕 筑後中学校体育館

〔競技方法〕 監督1人、選手12人以内でチーム編成(市内在住か勤務の人)し、9人制で行う。

〔申込み〕 申込用紙(社会教育課にあります)に、必要事項を記入し、11月11日(木)までに提出のこと

※上位2チームは、八女・筑後広域圏ソフトバレーボール大会(12月6日開催)へ出場できます。

くわしくは、社会教育課(☎534111内線433)へ。

### 第1回全国障害者 ボウリング大会

ときめきフェスタ福岡実行委員会と(財)日本身体障害者スポーツ協会では、全国の障害者がボウリン

グ競技を通じて、障害者スポーツの普及・振興を図り、障害者のスポーツへの関心と参加意識をたかめることを目的として、つぎのとおりボウリング大会を開催します。

〔とき〕 平成5年2月13日(土)団体戦、午後1時30分～午後6時、14日(日)個人戦、午前9時30分～午後3時

〔ところ〕 スポーツガーデン香椎(〒810福岡市東区千早3丁目)

〔競技方法〕 アメリカ方式とし、個人戦は4ゲームの総得点で、団体戦は1チーム3人で、各人3ゲーム計9ゲームの総得点で順位を決める。個人戦及び団体戦の両方に出場可。

〔参加資格〕 身体障害者手帳又は療育手帳を持っている16歳以上の

人。

〔参加費〕 個人戦は千円。団体戦は1チーム二千円。

〔申込み〕 11月25日までに市福祉事務所へ。申込書は同所にあります。(☎534111内線222)

### シルバーゴルフ大会

市老人クラブゴルフ部では、第10回ゴルフ大会参加者をつぎのとおり募集します。

〔とき〕 11月10日(火)午前8時30分現地集合。

〔ところ〕 久留米カントリークラブ(広川町)

〔参加費〕 四千元(コンペのみは千円)

〔申込み〕 11月5日(木)までに市福祉事務所(☎534111内線222)へ。

### 運転免許証更新 受付時間を延長

筑後自動車運転免許試験場では、優良運転者などの自動車運転免許証の更新申請受付時間を、つぎのとおり延長しています。

〔受付時間〕 ▽午前8時30分～11時  
▽午後1時～午後3時30分

〔対象者〕 ①更新前3年間無事故無違反の人と前回の更新の時に簡素化講習を受けた人で、今回の更新までの間に軽微な違反が1回だけの人 ②更新前1年以内に、特別講習・安全運転管理者講習・自動二輪車安全運転講習を受けた人。

※その他については従来どおり午前8時30分から9時30分までと、午後1時から1時30分までです。

くわしくは、筑後自動車運転免許試験場(☎535208)へ。

### 公衆電話で 国際通話ができます

NTT筑後営業所では、NTT筑後営業所南側に、国際通話ができる第一号の公衆電話を設置しました。外国にもダイヤルひとつで通話ができます。ご利用ください。

### 水利地益税

第2期

### 国民健康保険税

第5期

11月の税



◆心配ごと相談	毎週木曜日	9時～15時	総合福祉センター
◆人権相談	11日(水)	10時～15時	サンコア
◆消費生活相談	18日(水)	13時～15時	サンコア
◆行政相談	19日(木)	9時～15時	総合福祉センター
◆社会保険相談	25日(水)	10時～15時	商工会議所
◆消費相談	毎週火・水・金曜日		商工観光課
◆「心の病」相談	19日(木)	13時～15時	総合福祉センター
◆家庭児童相談	毎週月・水・木曜日		市福祉事務所



### 図書館新刊案内

【児童向き】 ○斉藤洋「どうぶつえんのいっしゅうかん」  
○マクネイル「はじめてのおてつだい」 ○木暮正夫「おぼけ博士不思議庵主人」 ○チゾン「おぼけおぼけおぼけだらけ」  
○木村大介「ゴリラのジャングルジム」 ○荒井良二「バスにのって」 ○西本鶏介「かんきょう絵本 町・ごみ」

【一般向き】 ○陳舜臣「琉球の風」 ○シェルゲン「明け方の夢上・下」 ○エステル・石郷「ローン・ハート・マウンテン」 ○林真理子「おとなの事情」 ○小山織「和の雑貨」  
○ルービン「夫／妻この親密なる他人」 ○吉村治作「エジプト史を掘る」 ○松本清張「一九五二年日航機墜落事件」  
○伊集院静「受け月」  
※今年も山ノ井の井口保さんから児童書をいただきました。利用してください。（「赤毛のアンのお料理ノート」ほか84冊）

【閉館日】 2日・3日・9日・15日・16日・23日・30日

## 市史編さんこぼれ記 15

# 船小屋橋と放水路



国道二〇九号線の矢部川には、船小屋橋（鉄橋）と中の島橋が架かっています。鉄橋は、筑後市大字尾島宇東古賀原八〇五ノ一地先から瀬高町大字長田字狐林二九二五ノ二地先へ。中の島橋は、同狐林二九七五ノ二地先から同大字長田下川原二八一五ノ一地先へ渡ります。

二つの橋は、どちらも昭和四年二月に完工したと銘板に示されています。

下川藤夫さん（津島東・八十三歳）に鉄橋づくりの話を聞いてみました。

船小屋橋は、U型鋼を鉄釘でつないだ直弦トラス型二連が一基の橋脚に支えられ、一経間（橋台と橋脚の間）四一・三〇m、橋の長さ八二・六〇m、有効幅員は五・六〇mで時代を感じさせる赤い橋です。

「鉄橋工事は、昭和二年にまず橋脚、橋台の作業からはじまって、津島からも五、六十人が作業員に雇われていた。

この橋は、当時、産業道路と称された県営久留米瀬高線新設事業の中で、最初に着手された工事でした。

当時、大牟田市は化学工業が拡大に向

果の直営工事で、上岡という工兵隊あがりのきびしい主任がおつて、賃金が一六十五銭、米は一升三十五銭、酒が一升六十銭位だった。働きの悪い人は、すく「くび」で、農村は不景気だったので作業員に使ってもらうのに皆んな押しかけ

ていた。

放水路工事と同時に、毎朝、鉄橋側と放水路側に作業員が振り分けられた。放水路になっているところは、畑地だったが、ここを掘り上げ、土を南側の堤防に積み上げる作業だった。放水路の上流の流れ込み部分の補強工事は、津島の村上千太郎さんの請負だったが、その他は果の直営工事だった。

放水路は、大正十年の大洪水で、どこも堤防が鋸の歯のように崩れる大被害だったので、その反省から起工されたといっている。

この放水路工事と併行して、中の島橋が架けられました。この橋の橋脚台と中の島の地面高の差は二〇程ありますが、文字通り川の中に島が残されるようになりました。

ここにはじめて「中の島」の地形も名称も生まれました。

この二つの橋と果道ができる前は、尾島から本郷へ回るか、今の観光橋（ガタガタ橋）を通って土手を上り、南の長田鉱泉場への道が果道でした。

## スポーツ文化

健康福祉祭第9回シルバードル  
フ大会成績（9月25日・久留米カ  
ントリークラブ）  
①田中登士夫（江口）②立山千代  
子（一条）③添田嗣夫（山ノ井）

●ちっこ祭りスケッチ大会入賞者（9月12日中の島公園）（内は学校名）

〔金賞〕小学校1年 さねもとじゅんこ（水洗）  
2年 秋之尾加奈子（水田） 3年 田中ひでのり（筑後北）  
4年 山口美和（古川） 5年 野田まい子（二川）  
6年 津留孝史（二川）〔銀賞〕小学校1年 きたじまともき（二川）、  
新川洋史（筑後北）、  
2年 じょうざきたつひと（水洗）、野田智矢（二川）  
3年 よこまくらかよ（水洗）、山口恭平（筑後北）  
4年 田中夕将（二川）、山口博美（筑後北）  
5年 佐野友香（羽犬塚）、井寺光子（二川）  
6年 栗山和代（水洗）、田中麻里（二川）〔銅賞〕  
小学校1年 おいたてゆうや（羽犬塚）  
木村由香（筑後）、大田竜也（筑後北）  
2年 よしがいえみ（古川）、村上博一（水洗）  
かとうよしとか（水田）  
3年 おいたてやよい（羽犬塚）、栗山しゅういち（水洗）、江崎三恵（下妻）  
4年 川原まり子（古川）、近本彩子（水洗）、北村美佳（水洗）  
5年 野田篤史（古川）、山口りょうこ（古川）  
中学校1年 三宅麻耶、真村しんや（筑後中）

### 9月の人の動き

人口	44,263人(+14)
男	21,126人(+24)
女	23,137人(-10)
世帯数	12,466戸(+7)

### 9月の交通事故

発生件数	23件 (194件)
負傷者数	26人 (232人)
死亡者数	0人 (2人)

※( )内は1月～9月までの累計です。

この広報は再生紙を使用しています。

印刷 印刷